

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和3年6月15日 単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	クロロティウム ・ホリクリコイテス
1.長田沖									
2.片白島	08:56	0	21.4	32.35	8.4	0	0	75	0
		5	19.1	33.86	8.2	0	0	0	0
3.小田代	09:08	0	20.0	31.13	8.4	0	3	25	0
		8	18.9	33.88	7.1	0	1	0	0
4.沖松浦漁港	09:14	0	20.4	30.88	8.3	0	0	500	0
		2	20.0	33.51	8.1	0	0	40	0
		5	19.1	33.79	7.5	0	1	20	0
		9.7	18.9	33.90	6.7	0	0	0	0
5.鶴見振興局裏	09:21	0	20.8	31.35	8.8	0	0	0	0
		5	19.0	33.79	7.6	0	0	0	0
6.鶴見ポンツーン	09:23	0	20.5	31.61	8.3	1	0	25	0
		6	19.0	33.87	7.7	0	0	0	0
7.石間	09:45	0	20.7	32.95	8.8	0	0	50	0
		5	19.2	33.82	8.2	0	0	0	0
8.守後	10:00	0	22.7	29.69	10.6	0	0	0	0
		5	19.5	33.76	8.4	0	0	0	0
9.霞ヶ浦	09:55	0	22.8	29.52	11.2	3	0	50	0
		5	19.9	33.63	8.3	0	0	0	0
10.久保浦	10:06	0	22.4	31.12	9.6	3	0	100	0
		5	19.7	33.74	8.6	0	0	0	0
11.片神	10:15	0	23.1	30.68	9.4	0	0	100	0
		5	19.5	33.82	8.6	0	0	0	0
12.片神～彦島	10:26	0	22.2	31.89	10.4	0	0	0	0
		5	19.5	33.81	8.4	0	0	0	0
13.水試前	10:43	0	22.1	32.83	7.7	0	0	75	0
		5	19.5	33.76	8.1	0	0	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※1長田沖は6月16日の調査予定

*現在、st6.鶴見ポンツーンにおいて自動昇降式観測機を設置していますので、QRコードまたは下記URLからご利用ください。

<http://hydro.browse.jp/hydrolift/20-Oita/oitatop.html>

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア(ギム/テニウム)・ミキモイ	200以上	2000以上
クロロティウム・ホリクリコイテス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

*アワビ、ササエ等ではカレニア・ミキモイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

*マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。



自動昇降式観測機QRコード

連絡事項

有害プランクトンのシャットネラsp、カレニア・ミキモイ及びヘテロシグマ・アカシオが確認されました。今後の細胞密度の推移にご注意下さい。

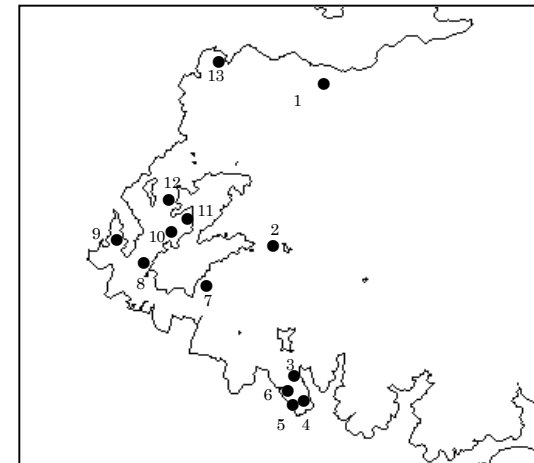


図. 調査定点図